

第1学年C組 生活科学習指導案

授業者 稲垣 勇介
研究協力者 中野 良樹
教材分析協力者 長瀬 達也

1 単元名 きれいに さいてね ～はなをそだてよう～

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

4月、子どもたちは、教室横に咲いていた桜やチューリップから春を感じ取っていた。「一緒に写真を撮りたい」という子どもがおり、自然の美しさを感じ取り、植物への興味や関心をもっていった。しかし、花について問うと、色は答えられるが形や花びらの枚数等の特徴は正確に把握していない子どもがみられた。また、どのようにして花が咲くのかについても、種を植えて発芽後すぐに開花するわけではないことは分かっているが、双葉や本葉等の複数種の葉が出たりつぼみの状態を経て開花したりするように、どのような過程を経て生長していくのか分からない子どももみられ、これまでの生活環境や出身園が様々であることによる経験の差も少なくないと感じる。

並行して学習している単元「こんにちはふぞくしょうがっこう」の学校探検で、子どもたちは、学校にある部屋や物、いる人を見つけていた。しかし、目の前の事物にばかり目がいき、見つけた部屋や物、人を特徴や役割に関連付けて考えることはまだできていない。物事を関連付けて考える経験自体が少ないため、その力が十分に育っていない。物事を関連付けて考えることで気付きの質が高まるという実感とともに、必要感をもって関連付けをしながら考える力を高めていく必要がある。

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領における学習内容(7)の特に「植物の栽培」に重きを置いた単元であり、一人一鉢でアサガオの栽培をする。栽培活動を通して、**生き物への親しみをもって植物を大切に育て、植物を観察して違いや特徴を見付ける**という資質・能力を育んでいく。

アサガオは、複雑な手入れをしなくても生長が見込めるため、栽培経験のない子どもでも育てやすい植物である。また、生長が早く、変化も顕著であるため、様子を観察して気付きを得やすい。生長に伴う世話についての困り事は解決しやすく、開花時期には多くの花が咲く点から、植物への愛着や自分の世話の成就感といった手応えを感じることができ、今後の活動への意欲につながると考える。

アサガオの栽培を通して、観察から発芽、双葉や本葉の形、つるの長さ等の特徴を気付きとして表現する。葉の増加やつるの伸長等の対象の変化を生長として捉え、その際の自分の世話に関連付けることによって、生長したのは自分が世話を頑張ったことによるものであったと実感でき、自分自身への成長の気付きにもつながっていくと期待できる。

(3) 指導について

本単元で育む資質・能力を高めるために、**対象に身体を通して直接働きかけたり、気付きの比較、分類、関係付けをしながら対象について捉えたりする**という「見方・考え方」を単元を通して生かすようにしていく。

観察時には、身体のような感覚を通して多様な気付きを得られるように、五感を視点として提示する。どの感覚を用いたから気付きを得たのか自覚できるような価値付けをすることで、「感触を知りたいときは、こするとよい」というように、自分が求めるものを得るために見通しをもって観察するようになることを考える。さらに気付きの質を高められるように、観察によって得た気付きを必要感をもって比較したり関連付けたりすることができるように、観立を工夫する。生長や変化を見付けるための比較ができるように、撮影や撮り溜めた写真を拡大縮小しながら見ることができるタブレット端末の整備をする。自他のアサガオの違いを見付けるための比較ができるように、自分のアサガオの特徴を探す場を設ける。また、アサガオの気持ちを考え、アサガオになりきって自分に話しかける場を継続的に設ける。自分に話しかけ、自分を客観視して見ることが、自分の世話を対象の様子と関連付けることにつながることを期待する。

序盤は、アサガオに愛着をもって活動を始められるように、発芽前後のアサガオを赤ちゃんと見立てて気持ちを想像したり名前を付けたりする場を設ける。自分のアサガオをどうしたいか、どう育てたいかを考えることで、見通しをもって活動を始められると考える。

中盤は、世話、観察、気付きと世話の関連付けを繰り返す場を設ける。アサガオの気持ちの想像から不安や困り事が出てきた際はそれを取り上げ、解決策を考える場を設ける。働きかけと対象の様子と関連付けを繰り返すことで、「このような世話をすればこうなるはず」と今後の世話へ見通しをもちながら活動を続けていくことができることを考える。

終盤は、今までの自分の世話に成就感をもち、開花に向けて世話の意欲が増すように、今までのアサガオの生長と自分の世話を振り返り、今後への思いや願いを再確認する場を設ける。自分の思いや願いを基に活動を展開していく学び方がより一層確立していくと期待する。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

(1) アサガオの各生長段階の違いや特徴、生長や変化の様子に気付いている。 〈キ-2・4〉

(2) 観察して得た気付きを伝え合ったり、自分の世話をアサガオの様子と関連付けて考えたりしながら、見通しをもって世話をしている。 〈カ-1,キ-1〉

(3) アサガオへの親しみや愛着をもち、自分の思いや願いを叶えようと大切に世話をしようとしている。 〈ア-1,キ-1〉

4 単元の構想（総時数 13 時間）※選択・決定を通して、自律的に学習を進めるための支援

きれいにさいてね～たねまきをしよう～
・進んで関わったり親しんだりして大切にしようとする植物への関心

○本単元の学習活動で働かせる主な「見方・考え方」 対象に、これまでの知識や経験に基づき、分類したり、関係付けたりしながら対象について捉える。	時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価〈本校の資質・能力との関連〉
	1	(1) 発芽前のアサガオの顔を想像する。	・アサガオの様子とその要因を関連付けて捉えられるように、想像した顔の様子とその理由を考えるよう促す。	・発芽前のアサガオの気持ちを考えている。〈キ-1〉
	2	(2) 発芽直後の様子を観察し、アサガオに名前を付ける。 学習課題 あさがおのともだちをそだてよう。	・見通しをもって栽培できるように、自分の思いや願いを込めた名前を付けるよう促す。	・アサガオに対して、思いや願い、愛着をもって名前を付けている。〈キ-1〉
	3	(3) 双葉の様子を観察し、特徴を捉える。	・形や感触等の特徴を見付けられるように、目や手等を用いることを観察の視点として提示する。	・アサガオの双葉の特徴に気付いている。〈キ-2〉
	4	(4) 自分のアサガオの特徴を捉え、双葉の気持ちを考える。	・世話をアサガオの様子と関連付けて考えられるように、アサガオとの仲良し度を考える活動を継続的に取り入れる。	・自分の世話を双葉の様子と関連付けて考えている。〈カ-1, キ-1〉
	5	(5) 本葉が出る前の葉や茎の様子を観察し、特徴を捉える。	・葉にある穴や茎の毛を見付けられるように、虫眼鏡を用いて観察する場を設ける。	・アサガオの葉や茎の変化に気付いている。〈キ-2・4〉
	6	(6) 自分のアサガオの特徴を捉え、葉や茎の気持ちを考える。	・アサガオは自分の世話、天候や虫等の影響を受けると気付くことができるように、アサガオになりきって自分に対する気持ちを考える場を設ける。	・自分の世話を葉や茎の様子と関連付けて考えている。〈カ-1, キ-1〉
	7	(7) 本葉の様子を観察し、特徴を捉える。	・形や大きさ、感触等の特徴を見付けられるように、目や手等を用いることを観察の視点として提示する。	・アサガオの本葉の特徴に気付いている。〈キ-2〉
	8	(8) 自分のアサガオの特徴を捉え、本葉の気持ちを考える。	・後に本葉の大きさや数の変化に着目できるように、現時点での本葉の様子をタブレット端末で撮影する場を設ける。	・自分の世話を本葉の様子と関連付けて考えている。〈カ-1, キ-1〉
	9	(9) つるが伸びる前の葉や茎の様子を観察し、特徴を捉える。	・大きさや数、感触等の特徴を見付けられるように、目や手等を用いることを観察の視点として提示する。	・アサガオの葉や茎の生長や変化に気付いている。〈キ-2・4〉
	10	(10) 自分のアサガオの特徴を捉え、葉や茎の気持ちを考える。	・アサガオの生長を感じられるように、タブレット端末内の記録を基に今までと今の様子を比べる場を設ける。	・自分の世話を葉や茎の様子と関連付けて考えている。〈カ-1, キ-1〉
	11	(11) つるの様子を観察し、特徴を捉える。	・長さや感触等の特徴を見付けられるように、目や手等を用いることを観察の視点として提示する。	・アサガオのつるの特徴に気付いている。〈キ-2〉
	12	(12) 自分のアサガオの特徴を捉え、つるの気持ちを考える。	・長さの違いに着目できるように、紙テープを用いて友達のと長さを比べる場を設ける。	・自分の世話をつるの様子と関連付けて考えている。〈カ-1, キ-1〉
	13	(13) ここまでのアサガオの生長を振り返る。	・自分の世話による生長の実感と今後の栽培意欲の向上のために、今までの世話を想起しながらタブレット端末内の写真を見て、今後の自分の思いや願いを確かめる場を設ける。	・アサガオの生長を喜び、思いや願いを強くもって世話を続けようとしている。〈キ-1・4〉

◎本単元で育む主な資質・能力
植物を育て、生き物への親しみをもち、大切にすることができる。(キ-1)
植物を観察し、違いや特徴を見付けることができる。(キ-2)

きれいにさいてね～げんきにそだってね～
・生長や変化の様子、成長段階に合った世話の仕方、植物は命をもっていることへの気付き

5 本時の実際 (6/13)

(1) ねらい 葉や茎の様子の違いに着目し、アサガオの気持ちを想像することを通して、自分の世話について葉や茎の様子と関連付けながら考えることができる。(か-1,キ-1)

(2) 展開

○省察を通して、自律的に学習を進めるための支援

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の支援 評価
5分	① 本時の学習課題を確認する。 学習課題 あさがおの気持ちを想像して、あさがおがうれしくなるお世話を考えよう。	・世話について考えようとする意欲を高めることができるように、現時点での自分とアサガオの仲良さ度を考える場を設ける。
18分	② 自分のアサガオの特徴を観察して捉え、アサガオの感情を想像する。 ・前より葉が大きくなった。 →笑顔 ・友達の茎より細い。 →困り顔 ・葉に穴が空いている。 →困り顔	・葉や茎の様子に着目して観察することができるように、「大きさや長さ等を捉えられる目」や、「柔らかさや太さ等を感じられる手」を視点として示す。 ・自分のアサガオの特徴を見付けられるように、友達と自分のアサガオを比べたり、以前の様子を見るためにタブレット端末を使ったりするよう促す。 ○自分の世話とそれにより表れたアサガオの様子を関連付けて考えられるように、アサガオの感情とその理由となる様子を分類し、整理しながら板書する。
15分	③ アサガオになりきって気持ちを考える。 ・笑顔→□□くんが毎日水やりをしてくれたおかげで葉が大きくなったよ。ありがとう。 ・困り顔→寒くて太くなれないからもっと日の当たる所に行きたい。 ・困り顔→虫に食べられて穴が開いたよ。△△さん助けて。	○アサガオは自分の世話だけでなく天候や虫等の影響も受けることに気付くことができるように、アサガオになりきって自分に対する気持ちを考える場を設ける。また、天候や虫等の働きかけが含まれている気持ちを意図的に取り上げる。 ・世話の仕方を見直すきっかけとなるように、アサガオの困った気持ちを意図的に取り上げ、どのような世話をすればよいか問いかける。
7分	④ 本時を振り返り、世話について自分の思いをもつ。 ・葉を大きくしてあげられるように水やりは忘れないよ。 ・茎を太くしたいんだね。日が当たる所に鉢を置いてあげる。 ・葉に穴が開かないように虫がいたらとってあげるね。	・今後の世話に見通しをもつことができるように、アサガオの気持ちを聞き、それに応じて会話をする劇化の場を設ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 自分の世話の良かった点や改善点について、世話、天候、虫等の働きかけと葉や茎の様子を関連付けながら考えている。 (か-1,キ-1) (発言・シート) </div>